

神奈川県臨床細胞学会 幹事会 議事次第

日時：2021年10月12日（火曜日） 18:00～

場所：Web会議

1. 会長

2. 報告事項

- ① 庶務報告
- ② 編集委員会報告
- ③ 医師研修委員会報告
- ④ 検査士研修委員会報告
- ⑤ 広報委員会報告
- ⑥ 第36回関東臨床細胞学会学術集会・第39回神奈川県臨床細胞学会学術集会・日本婦人科がん検診学会（3会合同開催）
- ⑦ 第40回神奈川県臨床細胞学会学術集会について
- ⑧ 2020年度会計報告および2021年度予算案について
- ⑨ 会費滞納者・連絡不能者について

3. 審議事項

- ① 2022年度 神奈川県臨床細胞学会会長について
- ② 神奈川県臨床細胞学会会誌 投稿の電子化について
- ③ 細胞診研修会（仮）開催経費の計上について
- ④ 企業と共催による研修会開催について

4. その他

・報告事項

① 庶務報告

庶務担当幹事 今井 宏樹

1. 会員数 (2021年8月31日現在)

医師	専門医	歯科専門医	一般医師	計
195(名誉6人)	167	4	24	691 (昨年比8名増)
技師	細胞検査士		一般技師	
496	495		1	

2. 新入会員数 (2021年8月31日現在)

医師	専門医	一般医師	計
6	3	3	22 (昨年比9名増)
技師	細胞検査士	一般技師	
16	16	0	

3. 会費納入状況 (2021年8月31日現在)

2020年度分 552/685 (80.6%) (昨年比0.3%増)

(除名誉会員6名)

医師会員 144/187 (77.0%) (昨年比8.2%増)

技師会員 408/492 (82.9%) (昨年比2.0%減)

② 編集委員会報告

委員長 梶原 博

1. 26巻の発刊について

原著1編、症例報告5編 計6編

前年度の学会が新型コロナの影響で開催できず、役員会内で投稿を依頼。

2021年1月末の時点で症例報告2編、再度お願いし2021年5月の時点で

計 原著1編、症例報告5編

査読業務の遅れ

12月末までの発刊を目指しています。

2. 27巻1号投稿締切：1月31日必着！8月発刊の限度

(投稿数6編以上を目安)

③ 医師研修委員会報告

委員長 小野瀬 亮

細胞診専門医資格試験認定試験直前ゼミ

コロナウイルス感染症の感染拡大により中止

④ 検査士研修委員会報告

委員長 今井 宏樹

1. 生活習慣病従事者研修会
コロナウイルス感染症の感染拡大により中止
2. 細胞検査士研修会
コロナウイルス感染症の感染拡大により中止

⑤ 広報委員会報告

委員長 磯崎 勝

ホームページの変更事業

- 役員名簿の修正・更新
- お知らせ 随時公開 28件
- 代表幹事会 ZOOM ミーティング準備
- 令和2年代表幹事会次第および議事録の掲載

⑥ 第36回関東臨床細胞学会学術集会・第39回神奈川県臨床細胞学会学術集会・日本婦人科がん検診学会（3会合同開催）

日時：2022年10月15日（土）（日本婦人科がん検診学会メイン）
：2022年10月16日（日）（関東臨床細胞学会・神奈川県臨床細胞学会メイン）
会場：パシフィコ横浜会議室センター 5階
大会長：宮城悦子（横浜市立大学医学部 産婦人科学教室主任教授）
準備状況（資料1）

⑦ 第40回神奈川県臨床細胞学会学術集会

日時：2023年
大会長：古田玲子（北里大学医療衛生学部 臨床細胞学研究室教授）

⑧ 2020年度会計報告および2021年度予算案について

2020年度収支決算報告

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
年会費	¥1,800,800	¥2,129,000	関東臨床細胞学会分担金 (684名x500円)	¥342,000	¥342,000
年会費見込額 (納入率80%)		年会費内訳	会誌発行経費 (含英文校正代)	¥1,100,000	¥1,045,323
医師 636800円 (0.8 x 199 x 4,000円)		医師 788,000円	第61回日本臨床細胞学会総会 春期大会共催セミナー	¥2,000,000	¥1,000,000
技師 1,164,000円 (0.8 x 485 x 3,000円)		技師 1,341,000円	第59回日本臨床細胞学会 秋期大会共催セミナー	¥2,000,000	¥1,400,000
会誌広告料	¥500,000	¥310,000	第39回学術集会 補助金	¥300,000	¥300,000
会誌別刷り代	¥100,000	¥41,200	国際学会発表支援金	¥100,000	¥0
抄録利用料 (医中誌)	¥5,000	¥4,840	役員会開催経費	¥50,000	¥0
生活習慣病従事者講習会 (県からの委託金)	¥0	¥0	編集委員会経費	¥100,000	¥20,948
検査士研修会 参加費	¥50,000	¥0	編集委員会事務員謝礼	¥60,000	¥60,000
検査士研修会 健康財団の共催金	¥20,000	¥0	医師研修会 開催経費	¥30,000	¥0
子宮の日関連補助金 (日本臨床細胞学会)	¥0	¥19,840	検査士研修会 開催経費	¥100,000	¥0
利子		¥2	生活習慣病従事者講習会 開催経費	¥0	¥0
			子宮の日補助金 (神奈川県細胞検査士会)	¥0	¥19,840
			第36回関東臨床細胞学会 学術集会補助金	¥500,000	¥500,000
			通信費	¥150,000	¥71,924
			事務用品費	¥200,000	¥2,343
			ホームページ維持費	¥50,000	¥19,364
			振込手数料	¥5,000	¥2,420
			予備費	¥100,000	¥0
2020年度収入	¥2,475,800	¥2,504,882	2020年度支出	¥7,187,000	¥4,784,162
2019年度繰越金	¥12,449,111	¥12,449,111	2021年度繰越金	¥7,737,911	¥10,169,831
合計	¥14,924,911	¥14,953,993	合計	¥14,924,911	¥14,953,993

以上の通り、2020年度の会計報告をいたします。

2021年4月5日

会計 柿沼廣邦



検査の結果、正確なことを認めます。

監事 上坊敏子



監事 石渡仁深



・2021 年度予算案

収入見込額		支出予定額	
会費(納入率 80%)	1,822,400	関東臨床細胞学会分担金 (693 名)	346,500
医師 636,800 円 0.8×199×4,000 円		会誌印刷代	1,100,000
技師 1,185,600 円 0.8× 494×3,000 円		第 39 回学術集会補助金	100,000
会誌広告料	500,000	国際学会発表支援金	100,000
会誌別刷代	100,000	役員会開催経費	10,000
抄録利用料(医中誌)	5,000	編集委員会経費	100,000
生活習慣病従事者研修会 県よりの委託金【今年度中止】	0	編集委員会事務員謝礼	60,000
検査士研修会 参加費	0	医師研修会 開催経費 【今年度中止】	0
検査士研修会 健康財団よりの 補助金	20,000	検査士研修会 開催経費	100,000
「子宮の日」補助金 (日本臨床細胞学会より)	20,000	生活習慣病従事者研修 開催経費 【今年度中止】	0
第 39 回学術集会 中止の返金	230,037	子宮の日補助金 (神奈川県細胞検査士会へ)	20,000
		ホームページ維持費	50,000
		通信費	150,000
		事務用品費	200,000
		関東臨床細胞学会学術集会 補助金	500,000
		振込手数料	5,000
		予備費	100,000
2021 年度収入見込	2,697,437	2021 年度支出予定	2,941,500
2020 年度繰越金	10,169,831	2022 年度繰越予定	9,925,768
合計	12,867,268	合計	12,867,268

⑨ 会費滞納者、連絡不能者の強制退会者について（9月12日現在）

4年度分滞納者数 7名（医師 3名、技師 4名）

5年度分滞納者数 2名（医師 1名、技師 1名）

送付先不明者 9名（医師 5名、技師 4名）

・審議事項

① 2022年度 神奈川県臨床細胞学会会長について

② 神奈川県臨床細胞学会誌 投稿の方法に関する改訂

電子メール便を用いた投稿、投稿規定の改定（別紙2）

③ 細胞診講習会（仮）予算計上について

細胞診講習会（仮）は、神奈川県より業務委託をされている生活習慣病従事者講習会に代わる講習会です。

生活習慣病従事者講習会は、近年は初級者を対象として細胞診の全分野を3日間で参加者20名程度の鏡見実習中心とした講習会です。参加者のうち5名程度が細胞検査士試験に合格し、神奈川県臨床細胞学会に入会しています。

生活習慣病従事者講習会は、昨年はコロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。

今年度は、神奈川県の担当部署で予算が計上できないため中止となりました。

2019年度までは、神奈川県よりの開催経費の不足分を神奈川県臨床細胞学会より補助金をいただいております。

来年度以降も神奈川県よりの予算が不透明であることから、神奈川県臨床細胞学会に講習会開催の予算計上をお願いいたします。

資料3に、2019年度のプログラムを添付いたします。

神奈川県臨床細胞学会 細胞講習会（仮） 2022年度予算案

収入		支出	
参加費 3,000円 X20名	60,000	講師謝礼 25,000円 X9名	225,000
		実務委員謝礼 5,000円 X3名 X3日	45,000
		昼食代 15名分 X900円	13,500
		お茶代	4,500
		郵送費 84円 X101施設	8,484
		事務用品費等	5,000
合計	60,000	合計	301,484

④ 企業との共催による研修会開催について

現在、コロナウイルス感染症の蔓延で講習会の現地開催が困難な状況です。

神奈川県臨床細胞学会ではWeb講習会開催に必要なZOOM等との契約は行っておりません。

また、限られた人員による準備は、知識や労力に負担が大きい状況です。

このため、企業と共催のWeb講習会とし、企業にWeb環境の提供をいただくことについて幹事の皆様のご意見をお願いいたします。



**第36回関東臨床細胞学会
第39回神奈川県臨床細胞学会
第31回日本婦人科がん検診学会
同時開催準備状況**



会長 横浜市立大学医学部 産婦人科学教室
宮城悦子

開催日：2022年10月16日（日）
第36回関東臨床細胞学会
第39回神奈川県臨床細胞学会
第31回日本婦人科がん検診学会
(10月15日土曜日・16日日曜日 2日間開催、
16日は細胞学会参加者も往来自由)

開催場所：パシフィコ横浜会議センター5階

共通テーマ

科学的エビデンスと受診者ニーズ
を備えた細胞診・検診に向かって



開催概要

日本婦人科がん検診学会参加者は16日の臨床細胞学会プログラム参加可能（希望者には参加証も配付）

関東臨床細胞学会＋神奈川県臨床細胞学会参加者は当日は日本婦人科がん検診学会プログラム参加も可能（土曜日は検診学会のみなので、参加費別途必要）

COVID-19感染症対策を万全に行い現地開催のみを目指しますが状況によっては 単位がつくセッションのみ録画、後日オンデマンド聴講も考えております。



主な企画

プログラム委員長：加藤久盛先生

（神奈川県立がんセンター 婦人科）

- ・ 基調講演 青木大輔先生「日本の子宮頸がん検診のあり方（検診学会）」
（慶應義塾大産婦人科）
- ・ 会長講演（3学会共通）宮城悦子（横浜市立大学産婦人科）
「子宮頸がん予防について（仮題）」
- ・ 教育講演（3学会共通）
藤井誠志先生（横浜市立大学分子病理学主任教授）
「ゲノム医療の進歩と形態学の融和へ（仮題）」
- ・ 会場費用の関係でポスター発表なし
一般演題口演や公募ワークショップに時間を多くとります。
- ・ スライドカンファレンス（関東・神奈川県臨床細胞学会企画）

横浜で多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております！

神奈川県臨床細胞学会誌投稿規定

(ver. 20200801)

1. 投稿資格

投稿者は共著者も含め、原則として神奈川県臨床細胞学会会員に限る。

2. 掲載論文

- 1) 論文の種別は総説，原著，症例報告，スライドカンファレンスである。
- 2) 投稿論文は臨床細胞学の進歩に寄与しうるもので，他誌に発表されていないものに限る。
- 3) 論文作成に際しては，プライバシー保護の観点も含め，ヘルシンキ宣言（ヒトにおける biomedical 研究に携わる医師のための勧告）並びに臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省，平成 15 年 7 月 30 日，平成 16 年 12 月 28 日全部改正，平成 20 年 7 月 31 日全部改正）が遵守されていること。
※これらの指針は，公益社団法人日本臨床細胞学会雑誌，各巻第 1 号に記載されているので参照のこと。
- 4) 論文の著作権は本会に帰属し，著者は本会による電子公開を承諾するものとする（本誌の発行の後，電子公開される。但し，当面の間，スライドカンファレンスのみ該当）。セルフ・アーカイブ（自身のホームページ，所属機関のリポジトリなど）においては表題，所属，著者名，内容抄録の公開は本誌の発行の後に認められる。
投稿論文の表紙に以下を記載すること：「本論文の神奈川県臨床細胞学会への著作権委譲と早期の公開に同意します」（あるいは，様式 1 の書類を提出すること）
- 5) 論文投稿に際し，著者全員の利益相反自己申告書（様式 2）を添付すること。利益相反がある場合は，論文末尾・文献の直前の箇所に，この自己申告書の該当部分が記載される。規定された利益相反状態がない場合は，論文末尾・文献の直前の箇所に，「筆者らは，本論文において開示すべき利益相反状態はありません」などの文言を入れることをもって代えることができる。
- 6) 論文の重複投稿(二重投稿)について，別途掲げる規定（添付 1）により判断し投稿すること。掲載の採否は編集委員会の判断による。

3. 投稿形式

- 1) E-mailを用いた投稿とする。投稿する際には，あらかじめ投稿する旨を編集委員長宛て(学術誌投稿用メールアドレス ****@****)に連絡し，論文整理番号と投稿用パスワードの発行を受ける。
- 2) 論文の投稿は，学術誌投稿用メールアドレス宛てに投稿データを添付する形で行い，メールタイトルは「整理番号_筆頭著者_バージョン」とする。（例 23S1_神奈川細子_初稿）
メール本文には，カバーレターを記入の他，査読時の依頼や希望事項等を記載する。

3) 添付する論文データは、ファイル名に論文整理番号、執筆者名、ファイル内容、投稿のバージョン(初版、2版等)を入れ、編集委員会より指定されたパスワードを掛けて投稿する。

*パスワードは、論文のセキュリティーおよび著作権保持のため、必ず掛けること。

様式1、様式2、査読に関する文章に関しては、パスワードは不要とする。

データ容量が大きい場合は、ZIP等を用いたファイルの圧縮を行う。

4) 再査読(修正論文)の投稿の際には、新規原稿とともに修正部分を朱記した旧原稿も添付し、初回投稿時と同様に、編集委員会より指定されたパスワードを掛けて投稿する。

2回目の投稿以降は、様式1、様式2の添付は不要とする。

*添付ファイル名の見本 [23S1_神奈川細子_本文_2版], [23S1_神奈川細子_本文_2版朱記]

[23S1_神奈川細子_査読者への回答] 等

添付2 「論文投稿、査読、採用までの流れ」を参照

4. 執筆要項

1) 文章と文体

(1) 用語は和文を原則とするが、英文の使用を妨げない。(2) 平仮名、常用漢字、現代仮名づかいを用いる。ただし、固有名詞や一般に用いられている学術用語はその限りではない。英文での投稿原稿の場合も和文の場合に準ずる。

(3) 度量衡単位は cm, mm, μ m, cm², ml, l, g, mg など CGS 単位を用いる。

(4) 外国人名、適当な和名のない薬品名、器具および機械名、または疾患名、学術的表現、科学用語については原語を用いる。大文字は固有名詞およびドイツ語の名詞の頭文字に限る。

(5) 医学用語は公益社団法人日本臨床細胞学会編集の「細胞診用語解説集」に準拠すること。また、その略語を用いても良いが、はじめに完全な用語を書き、以下に略語を用いることを明らかにする。

(6) Papanicolaou 分類は使用しないこと。

2) 原稿の書き方

原稿はワープロソフトを用い、A4 判縦に横書きし、1行 25 字で 20 行を 1 枚におさめる。上下左右に 30 mm 程度の余白をとり、左揃えとする。文字は 12 ポイント相当以上を用いるのが望ましい。

3) 電子ファイル

以下の電子ファイル形式を推奨する。

Word, RTF, TXT, TIFF, GIF, JPEG, EPS, Postscript, PICT, PDF, Excel, PowerPoint.
なお、印刷に必要な写真の解像度は、雑誌掲載サイズで 300dpi 以上が目安である。

4) 総説・原著・症例報告・スライドカンファレンスの様式

(1) 構成

タイトルページ、内容抄録、索引用語 (key words)、本文、利益相反状態の開示、英文抄録、文献、写真、図、表の順とする。原稿には通し頁番号をふる。

タイトルページ (1 頁目) には、当該論文における修正稿回数 (初回、修正 1 など)、論文の種別

(総説, 原著, 症例報告, スライドカンファレンス), 和文の表題 (50 字以内, スライドカンファレンスを除く), 著者名, 所属のほか論文別刷請求先, 著作権の移譲と早期公開に対する同意, 電話番号, ファックス番号, 電子メールアドレス, 責任著者 (corresponding author) を明記する. なお, 電話番号, ファックス番号, 電子メールアドレスは, 本誌には掲載しない.

2 枚目には内容抄録, 索引用語を記載する. 本文は内容抄録とは別に始める.

(2) 著者

著者名は直接研究に携わった者のみに限定する. 著者数は以下のとおりとし, それ以外の関係者は本文末に謝辞として表記されたい.

総説: 原則として 1 名とする

原著: 10 名以内

症例報告: 8 名以内

スライドカンファレンス: 原則として 1 名とする

(3) 内容抄録

500 字以内にまとめ, 以下のような小見出しをつける.

総説: 論文の内容に応じて適宜設定

原著: 目的, 方法, 成績, 結論

症例報告: 背景, 症例, 結論

スライドカンファレンス: 内容抄録は不要とする.

(4) 索引用語

論文の内容を暗示する英語の単語 (Key words) を 5 語以内で表示する. 原則として, 第 1 語は対象, 第 2 語は方法, 第 3 語以下は内容を暗示する単語とする.

key words 例:

胆嚢穿刺吸引細胞診—胆嚢癌 4 例の細胞像と組織像—

Gallbladder, Aspiration, Cancer, Morphology

肝細胞癌についての 1 考察

Hepatocellular carcinoma, Morphology, Review

喀痰中に卵巣明細胞腺癌細胞が見出されたまれな 1 例

Clear cell adenocarcinoma, Cytology, Sputum, Metastasis, Case report

(5) 本文及び枚数制限

a. 総説・原著

本文, 文献を含め 10,000 字以内 (A4 判 20 頁) とする.

図・表 (写真を含まず) は, 10 枚以内とする. 写真の枚数に制限はないが, 必要最少限の枚数とする.

b. 症例報告

本文, 文献を含め 6,000 字以内 (A4 判 12 頁以内) とする.

図・表 (写真を含まず) は, 5 枚以内とする. 写真の枚数に制限はないが, 必要最少限の枚数とする.

c. スライドカンファレンス

出来上がり 2 頁以内とする。

図・表の枚数に制限は設けない。

出題者名のほか、回答者、司会者名、本会学術集会時のスライドカンファレンス症例番号を明記する。

(6) 英文抄録

本文とは別紙に、表題の英訳およびローマ字つづりの著者名、所属の英文名、および抄録内容を記す。著者名のあとに、以下の略号を用いてそれぞれの称号あるいは資格を付記する。

医師：M. D. M. D., M. I. A. C. M. D., F. I. A. C.

歯科医師：D. D. S. とし、それ以外の称号あるいは資格は医師と同様に付記する。

臨床検査技師：M. T. C. T., J. S. C. C. T., I. A. C. C. T., C. M. I. A. C. C. T., C. F. I. A. C. などを記載する。

抄録内容は英語で 200 語以内（ただし表題、著者名、所属名は除く）とし、以下のような小見出しをつけてまとめる。

総説：論文の内容に応じて適宜設定

原著：Objective, Study Design, Results, Conclusion

症例報告：Background, Case（または Cases）, Conclusion

スライドカンファレンス：英文抄録は不要とする。

(7) 文献

a. 主要なものに限る。

総説：特に編数の制限を定めない

原著：30 編以内

症例報告：15 編以内

スライドカンファレンス：数編以内

b. 引用順にならべ、本文中に肩付き番号を付す。

c. 文献表記はバンクーバー・スタイルとし、誌名略記について和文文献は医学中央雑誌刊行会、英文文献は Index Medicus に準ずる。参考として以下に例を記載する。

【雑誌の場合】

著者名（和名はフルネームで、欧文名は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで 6 名まで表記し、6 名をこえる場合はその後を“・ほか”，“et al”と略記する）。表題（フルタイトルを記載）。雑誌名 発行年（西暦）；巻：頁－頁。

【単行本の場合】

著者名．表題．発行地：発行所；発行年（西暦）．なお、引用が単行本の一部である場合には表題の次に編者名、単行本の表題を記し、発行年．頁－頁。

他者の著作物の図表を論文中使用する場合は、原著者（あるいは団体）より投稿論文を電子公開することを含めた許諾が必要で、これを証明する書類を添付する。

(8) 図・表・写真

a. 図、表の記載は、タイトル・説明文ともに、和文、英文を問わない。写真、図、表は Photo. 1, Fig. 1, Table 1 などのようにそれぞれの番号をつけ、簡単なタイトルと説明を付記する。

- b. 本誌に掲載希望通りのプリント写真を添付すること（白黒写真掲載を希望なら白黒プリント，カラー掲載を希望ならカラープリントを添付）．白黒掲載希望で原図がカラー写真として投稿された場合，白黒原図の提出を求めることがある．ただし，スライドカンファレンスは本会ホームページに掲載するため，白黒写真投稿の場合においても，カラー原図（CD 版）をあわせて提出すること．
- c. 本文中には写真，図，表の挿入すべき位置を明示する．
- d. 顕微鏡写真には倍率を付する．光顕写真（細胞像，組織像）の倍率は撮影時の対物レンズ倍率を用いる．電顕写真については撮影時の倍率を表示するか，または写真にスケールを入れる．

5) 英文投稿の場合

A4 縦にダブルスペースで 10 頁以内とする．

和文抄録を付し，図・表その他は和文の場合に準ずる．

5. 別 刷

別刷を希望するときは，校正時に部数を明記して申し込む．

6. 論文の審査

投稿論文は編集委員会での審査により採否を決定し，その結果を筆頭著者に通知する．審査にあたっては査読制をとる．査読の形式は，投稿者と編集委員長，編集委員長と査読者の間で，電子メールによる応答で行う．

原稿の組体裁，割付は編集委員会に一任する．

添付 2 「論文投稿，査読，採用までの流れ」を参照

7. 校 正

著者校正は原則として初校において行う．出版社から送付された校正は，必ず 3 日以内に返送する．校正担当者が筆頭著者以外の時は，校正の責任者と送り先を投稿時に明記すること．校正では間違いを訂正する程度とし，原稿にない加筆や訂正は行えない．

当面の間，英文校正は編集委員会が業務を仲介するが，内容の変更に関しては著者の責任のもとに行うこと．

8. 掲載料

掲載料(白黒写真製版代を含む)，英文校正料は無料とするが，カラー写真印刷代，その他の図版費(図の製版代)，別刷代は著者負担とする．

9. 本規定の改定

本規定は改定することがある。

附則

1. 本規定は平成 25 年 9 月 28 日から施行する。
2. 平成 26 年 5 月 14 日 一部改定施行。
3. 平成 27 年 5 月 19 日 一部改定施行。
4. 平成 27 年 10 月 3 日 一部改定施行。

様式 1 著作権委譲等誓約書

様式 2 著者の利益相反自己申告書

添付 1 論文の二重投稿規程

添付 2 論文投稿、査読、論文掲載までの流れ

著作権委譲誓約書・早期公開同意書・
電子公開同意書（スライドカンファレンスの場合）

神奈川県臨床細胞学会編集委員会 御中

論文名：

上記投稿原稿につき、

- ① その内容が他誌に掲載されたり、あるいは投稿していないことを誓約致します。また、掲載後のすべての資料の著作権は神奈川県臨床細胞学会に属し、他誌への無断掲載は致しません。
- ② 論文の早期公開に同意します。
- ③ スライドカンファレンスの支部会ホームページ公開に同意します（該当者のみ）。

平成 年 月 日

著者所属：

著者氏名：

*投稿論文への記載をもって本書式の提出に代えることができる。

著者の利益相反自己申告書

神奈川県臨床細胞学会編集委員会 御中

論文名：

	金額	該当の状況	該当の有る場合, 企業名等
役員・顧問職	100 万円以上	有り・無し	
株	利益 100 万円以上/全株式の 5%以上	有り・無し	
特許使用料	100 万円以上	有り・無し	
講演料など	50 万円以上	有り・無し	
原稿料など	50 万円以上	有り・無し	
研究費	200 万円以上	有り・無し	
その他報酬	5 万円以上	有り・無し	

*物品供与, 貸与の場合等は金額換算とする.

誓約:私の本論文に関わる利益相反に関する状況は上記のとおりであることに相違ありません.

平成 年 月 日

著者所属：

著者氏名：

論文の二重投稿規程

本誌では同一論文の掲載は原則として認めていない。ただし、以下の条件をすべて満たす論文については、編集委員会の判断により掲載を考慮する。本規定は、国際医学雑誌編集者委員会(International Committee of Medical Journal Editors, ICMJE)の統一規定に準拠したものである。

1. 初出版の編集責任者から二次出版の許可を得ていること。二次出版の投稿時には、初出版の別刷または複写、掲載準備中の場合には原稿ならびに掲載証明を提出すること。
2. 二次出版には本文中および文献欄などに初出版について明記されていること。
3. 二次出版の内容は、初出版と異なる視点で論じられていること。

同一症例を扱った論文（症例報告）において、初出版が臨床的事項を中心に執筆され、二次出版では病理細胞学的事項を中心に論じられた場合などが、これに該当する。

論文投稿、査読、採用までの流れ

